

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール (2023年度 グループホーム楓)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内の会議で参加者全員で理念を唱和し職員同士意思の統一を行っている。また、困った時にいつでも振り返ることが出来るように施設内の要所に掲示している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の為、現在地域交流は積極的にできていない。コロナ禍前までは、地域の夏祭りの休憩所などとして使用していた。段階的に、以前のような交流を持てるようになっていきたい。	現在、近隣の高校などでインフルエンザが流行しているため、全職員で感染症に気をつけながら、安心・安全の介護が提供できるようにしています。 新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザも流行しているため、施設内に感染症を持ち込まないように職員の皆さんが頑張られていると思います。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	概ね2ヶ月に1回、ZOOMを使用したりリモート会議を開催している。運営推進会議内で外部評価を含めて開催しご助言など頂いている。今後は、早い段階で対面での運営推進会議を行っていきたい。	感染者数を踏まえた上で、公民館などをお借りして積極的に顔を合わせられる集合型の運営推進会議を行っていきたくと考えております。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営や解釈などが解らないことがあった時には、直接お話を聞きし施設運営に役立てている。出来る限り、顔見知りの関係が構築できるように努めている。	素晴らしい取り組みで私たちもマネさせて頂いている所なので、保険者に直接出向き顔を合わせて意見交換をすることは大切なことだと思います。人事異動などの方とかはいらっしゃいますか？私は、地域コミュニティー課に多いので、異動されている方が多いように感じました。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	GH協議会の研修「身体拘束をせずにケアを行うための基本的な考え方」を職員が受講し講師となって内部研修を行っている。そして、「身体拘束廃止マニュアル」を基に確認し理解を深めている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後は、外部講師の方をリモートなどでつなぎお願いしていきたいと考えております。外部の方に講義をして頂いた方が、理解が深まるように思っています。

6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に、内部研修で学びを深めている。1人1人の職員が、日頃行っているケアを振り返ることで、グレーゾーンを減らすことができることを浸透できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設では、不適切ケアを減らすことで虐待・身体拘束に当たるものが減っていると考えております。基本的に、自分がされたら嫌なことはしないことを基本に職員に周知徹底しております。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に内部研修会などで学びの機会を設けている。現在、成年後見制度をご利用されている方がいる為、後見人の方とも関わりを持つことで、学びが深まっている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の見学の段階から施設の特徴や運営方針を何度も話している。話し合いを重ね納得して頂いた上でご入所して頂いている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、リモート面会中の為なかなかご家族と直接お会いしてお話できる機会が少なくなっているが、お電話や来訪された時には、本人の状態をご報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族が、ご自宅でリモート面会が出来ない方に関しては、施設玄関にタブレットを配置しリモート面会ができるようにしています。ご家族にその都度現状のご報告をさせて頂いています。以前より、ご家族と一緒に病院に通院されている方が増えて来ています。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設会議などには、必ず運営者が参加し職員の話に耳を傾けている。職員から意見や提案を話しやすい雰囲気を作られている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勤務実績、資格取得、勤務態度などを加味した上で、処遇改善加算、特定処遇改善加算一時金として支給している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	処遇改善加算、特定処遇改善加算一時金の支給は、12月・3月・5月に本人の資格・勤務態度・勤務実績・勤務内容に合わせて支給しています。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	OJTを取り入れ、1人1人職員の力量に合わせて役割をお願いしている。積極的に、本人の向上心に合わせて、資格取得を進めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在は、感染症対策の為外部研修が開催されていない現状があります。今後、リモート開催などに職員の方にも積極的に参加して頂きたいと考えております。

13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症の影響で、積極的にネットワーク作りは出来ていなかったが、少しずつ以前のようネットワーク作りをし関係性を再構築していきたい。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	当施設では、利用者の方が今現在出来ることを大切にしながら、お手伝いなど積極的にお願いをしている。そして、職員はありがとうの気持ちを言葉で伝えるようにしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、リモート面会などの制限をしている。お電話・お届け物などの取次ぎなどは行っている。今後、以前のような関係が再構築できるように段階的に進めていきたい。	新型コロナウイルス感染症が、第2類相当から第5類相当に変わったことで、一般の方々が感染症予防に対する意識が薄れていくことで、今まで以上に感染症のリスクが高まっていると思います。利用者の方の健康管理など今まで以上に気をつけて頂きたいと考えております。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方の日頃の様子や言動、行動を注視し利用者の思いや表情を読み取り、本人本位のケアができる様に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月一回の会議だけではなく、常に日頃から話し合いを行ったりすることで、その時に応じた介護計画を作成している。	担当職員、会議、計画作成担当者が評価されている為、十分にモニタリングされていると思います。	<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員が担当の利用者の方を受け持ったうえで、毎月担当職員が評価し、ケア担当者会議で話し合い、計画作成担当者が介護計画を作成しております。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	看護・介護経過記録に24時間の状況を記録しいつでも日頃の様子や職員の気づきなどが確認できるようにしている。LINE ワークス等を活用し、リアルタイムでの情報の共有が出来るようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	保険者の宮崎市が推奨しているセンター方式の様式を参考にさせて頂き、施設独自の記録様式を使用しています。水分量・排泄・睡眠状態と本人の気分を照らし合わせております。

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族とのコミュニケーションで何気なく言った言葉などをそのままにせず、多職種や関係機関と連携を図り、その時々生まれるニーズに柔軟に対応できるよう努めている。	将来的に、施設内でショートステイを考えているとお話でしたがご家族がお泊りされるとのことですか？ 在宅で生活されている認知症の症状がある方を対象とした介護保険上のショートステイの事です。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	コロナ禍以前のような地域のボランティアの方々に訪問してもらう事は出来ていないが、本年度は移動図書館などのフォーマルサービスから利用させてもらっている。安全に配慮した上で、地域資源の活用に努めていきたい。	新型コロナウイルス感染症が、日本中に蔓延したことで介護職員の人員不足が加速した現状があります。コロナ前の介護の考えかたと、今現在の私たちの介護に携わる職員への考え方や感染症対策における介入の仕方が変わっているのでなかなか、職員の方は私生活でも我慢されている所が多いと思います。職業倫理に頼っている状態が続いているのに限界があると考えております。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診のご希望の方には、往診されている Dr をご紹介している。本人やご家族の希望する医療機関の受診が継続できるように柔軟に対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方がご入院された時には、入院に至るまでの状況報告を行っている。常に、病院の方との情報の共有を欠かさないようにしている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、今まで関わりを持たせて頂いた医療関係者の方には、定期的な挨拶を欠かさないようにしております。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所契約時から、ご家族に基本的に重度化についての指針を何度も話している。施設機能の限界を見極め、ご家族とその都度話し合いを重ね合っている。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族の見学の段階から、看取り介護を含めた当施設の介護の限界をお伝えしております。ネクステージを踏まえその時の本人の状態に合わせた施設をご家族と一緒に探しております。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃のケアの中で、医療職・ご家族との連絡法や対応法を学んでいる。マニュアルを作成いつでも閲覧できるようにしている。内部研修などで、緊急時対応法の勉強会を行っている。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・水害・地震・感染症を想定したBCP(事業継続計画)を策定している。 また、昨年度は利用者にも実際に参加してもらい避難訓練を実施した。	2022年12月に利用者の方と一緒に消防避難訓練を開催しました。 洪水防災マップ上では、当施設は薄いピンク色の地域になっておりますが、空からの照射で25m四法の平均の高低差をとられているとのことです。隣の同じ高さの建物は、洪水エリアに入っておりません。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今後、コロナウィルス感染症拡大の状況を見ながら避難訓練を考えていきたい。 コロナ禍でも施設ができる範囲での避難訓練を実施していきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営理念に人格を尊重する介護を掲げており、職員は一人ひとりの性格や生活歴等を把握し、その人の誇りを傷つけないように言葉かけや対応に配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	特に排泄のトイレ介助の時には、気を配っております。利用者の方で、排泄が自立されている方が、トイレの扉を開けたまま排泄されている時には、職員が扉を閉めプライバシー空間が保てるようにしています。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事・入浴の時間をゆっくりと希望にそって過ごしていただいている。利用者1人1人の生活スタイルを職員が見極め、趣味・レクリエーションなどを通して喜びを共に共有できるようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事は毎食、手作りで提供している。利用者の好みも把握し、苦手な食材や食事形態等にも柔軟に対応している。利用者の方にお盆拭きやテーブル拭きなどのお手伝いをお願いしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の方にできるだけ台所のお手伝い等で関わって頂いています。ご自宅で料理を作られていた時のお話などを聞き、本人の食事に対する楽しみを持って頂いております。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の記録に食事量、水分量をなどを記録、定期的に体重測定を行っている。必要に応じて主治医に相談している。定期的に、主治医の指示で血液検査などを行い体調管理に努めている。			

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事の後には、本人の有する能力に合わせ声掛け、仕上げ磨き、介助と使い分けて口腔内の清潔を保てるように支援している。夜間帯には、義歯を預かり消毒し清潔が保てるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「入れ歯を預けたくない」と言われる認知症の方がいらっしゃいますが、何度も声掛けをし出来る限り清潔保持と義歯での事故を防止する観点から預らせて頂いております。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の残存機能を活かし、トイレでの排泄を支援している。記録等から一人ひとりの排泄パターンを把握し、定期的に声掛けをしている。また、緩下剤だけに頼らず、便秘予防として毎日ヨーグルトと牛乳を提供しており、腸内環境を整えたり、運動する機会が持てるよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排便の仕方が分からない方に関しては、腹部マッサージを行ったりし、腹圧をかける限りトイレでの心地良い排泄を促しております。オムツ内で排泄するより、トイレ内でゆっくり排泄が出来ることが大切であると思っております。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる限り、本人に合わせた支援を心がけている。週に2~3回入浴できるように支援している。個浴で職員と話をしながらゆっくりと入浴が出来るように支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	安眠を促せるように寝具を交代で天日干したり、シーツを洗濯し清潔に保てるようにしている。その時の体調や気分に合わせて、居室で休んで頂けるように職員が支援している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2名の職員で日付けと名前を確認した上で、服薬介助を行っている。薬事情報を職員がいつでも確認できるようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬をしないように努めています。誤薬は100%職員のミスであることを意識し常に職員同士でチェックし合っています。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常における掃除・洗濯等の家事活動で利用者一人ひとりのできない事を見極めながらお手伝いを楽しく取り組めるように支援している。お手伝いの後には、必ず職員が労いの言葉掛けをしている。編み物や塗り絵スポーツ観戦等利用者個人の趣味も楽しんでもらえるようご家族と協力して支援している。	個々の強みを見出すことで、利用者本人に自信を持って頂き生活に張りが出て来ると思っております。私たちもですが、自分でもできることを継続していくとやりがいになり、最終的には、楽しみにつながると考えております。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	現在、新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外は外出制限中である。今後、コロナウイルス感染症が収束した際にはコロナ禍以前の暮らしができるようにしていきたい。	私自身コロナウイルスに感染した時には、感染経路が解らずに家庭内で蔓延させてしまいました。症状が出る前に家族に感染させてしまっていました。感染力のあるコロナ禍の中でいろいろ制約もあるのでご苦労されていると思いますが頑張って下さい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	お小遣いをお預かりし、いつでもお金が使えるようにしているが、現在、新型コロナウイルス感染症の為、制限をかけている為、使用できていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いつでも電話の取次ぎなどが出来るように積極的に行っている。時効の挨拶や手紙は、職員と一緒にすることで、やり取りなど出来ている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホールやリビングにソファを配置し、共同スペースでも思い思いにくつろげる空間になるように配慮している。また季節感を感じていただけるように、飾りつけや利用者の作品を掲示している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内に、排泄のにおいがしないように換気をよくしています。当施設は木造ですが、床・壁ともににおいがつかないように工夫しております。施設南側に、窓を多くとっていますので、光がたくさん施設内に入ってくるようにしております。

IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族と話をする際には確認させて頂いている。利用者の日頃の言動や行動を記録にとり、把握し職員内で共有している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、職員が利用者との会話の内容や出来事などを記録にとり、職員で定期的に話し合い情報の共有を行っている。そして、介護計画に反映できるようにしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃から、利用者の顔色や表情、その時の気分などを観察しながら、いつもと様子が違う時には、医療職に相談し利用者1人1人が安心して生活が送れるように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人として、本人の状態に沿ったケアを行うように努めています。利用者1人1人に担当の職員を配置し、担当職員が評価し、それを基に介護支援専門員がケアの方向性を決めています。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者1人1人リビングやフロア一、居室などに行かれゆっくりとした時間を過ごされている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用されていた寝具や食器類など本人のなじみのある物をご家族の協力を得ながら持参していただけるように支援している。		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご自宅の生活臭のする布団やまくら、使用されていたお茶碗類やコップなどを施設に持ってきて頂いております。入所当初に、本人がここに居ていいと思える空間作りに力を入れています。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	新型コロナウイルス感染症対策の為、病院受診以外の外出は制限させていただいている。新型コロナウイルス感染症が収束した時には、以前のような外出支援を積極的に行っていきたい。	今の現状では、必要最小限の外出にとどめるのは致し方ないことだと思います。ご家族からの外出希望などありますか？あつた時には、現状をお話しご納得頂けるように努めております。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お手伝いをして頂いた後には必ずありがとうございますの気持ちを言葉で伝えている。今現在、本人ができること、できないことを把握しながら、職員と一緒にお手伝いやレクリエーションに取り組んで頂いている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者同士が顔見知りの関係が構築できるように支援している。また、利用者一人一人ができることできないことがある中、共に支え合って生活を営まれている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	男女の比率に関してのご質問に対して、当施設は女性 9:男性 1 程の割合となっております。平均寿命が、女性の年齢が高いのも要因の一つではないかと考えます。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染症対策の為、スカイプ面会をしている。今後、段階に応じて少しずつ以前のような関係性が再構築できるようにしていきたい。	新型コロナウイルス感染症もありますので現在はできる事をされているので良いのではないかと思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の皆様がコロナ禍であっても出来る限り安心して生活が送れるように支援している。職員一丸となって利用者 1 人 1 人から笑顔を頂けるように努めている。	職員さんも利用者さんも感謝の気持ちを持って接することはとても良いことだと思います。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の強みに目を向けた介護計画を作成し職員一丸となってケアを行っております。強みに合わせたお手伝いをして頂いた後に、職員がありがとうと言った感謝の気持ちを言葉で伝えるようにしております。